

イルサルトの創業から先日丸8年を迎えました。今までに延べ10,000人以上の経営者の方のスーツをお仕立てさせて頂いてきて分かったことがあります。それはお仕立てさせて頂いてから2年ほど経った時に、スーツを美しい状態でお召しになられている方とそうではない方の差が非常に大きくなると言うことなのです。お仕立てをさせて頂き1年後くらいの状態はさほど変わらないのですが、2年程経った時に非常に大きな差が生まれている。この差は何なのか？と言うと日々のお手入れ方法の差なのです。破れや汚れ、そしてシワのあるスーツを着ていると非常にだらしない印象を与え、自己概念そのものも上がりませんので良いことは何もありません。

ただ正しいお手入れ方法が世の中に広まっているかと言うと決してそうとも言えませんので、これは服を扱う側の責任と私は考えています。そこで今回は色々あるお手入れ方法の中でも私自身が日々実践して効果が確認出来ている方法のみをご紹介します。ぜひともご紹介します。

◆ 全てのアイテムの共通お手入れ方法

① ローテーションを守る

“ローテーションを守る”とは一回着用したら3~4日は休ませてあげる、と言うことです。これは服だけではなくシャツ、靴、鞆全てのアイテムに当てはまります。休ませることでシワや湿気が自然と取れていき、休ませるだけで次に着る時にはかなり綺麗な状態になっています。1週間の中でそれぞれのアイテムの使用頻度は1回に抑えることで寿命は飛躍的に伸ばすことが出来ます。

② 応急処置はしない

食事している時に食べ物をこぼしたりして服が汚れてしまうことがあります。そんな時におしぼりで拭いたりする方も多いのですが、強く拭いてしまったり薬品が入ったもので擦ることで汚れが余計に取れにくくなることがあります。汚れが付いたら応急処置はせず出来るだけ早く染み抜きに出す様にしてください。

③ 破れはすぐ補修する

何かに引っ掛けてしまって破れてしまったり、小さい穴が開いてしまったりすることがありますが、そんな時も出来るだけ早く補修する様にしてください。小さい穴でも放置しておくとうどんどん大きくなってしまいます。こんな破れが直るのだろうか？と言う破れでも補修出来る範囲は意外に大きいのでまずはお相談ください。

◆ スーツ、コートのお手入れ方法

① ブラッシングを必ずする

お手入れ方法の基本中の基本と言えるのがこの“ブラッシング”です。これは1日お召しになられたら必ずする様にしてください。私自身もどんなに遅く帰ってきたとしてもこのブラッシングだけは必ずする様にしています。ブラシと言ってもエチケットブラシではなく写真の様な厚みのあるブラシです。何故ブラッシングが重要かと言うと生地につく埃やゴミを除去してシワを早く回復させる為なのです。生地の周囲に埃やゴミがつけばつくほどシワが取れにくくなります。1日お召しになったスーツは気づかない間に色々な埃やゴミが付いていますので帰られたら必ずブラッシングをして取り除く様にしてください。

使い方としては 1) まずは下から上にブラッシングをし、ゴミを掻き出していきます。 2) 次に上から下にブラッシングして毛並みを整えてください。かなり強めの方でやって頂いても繊維が傷つくことはありませんので、奥から埃を掻き出すイメージでブラッシングしてください。又色々なブラシがありますがイルサルトのオススメは英国の名門テイラーオブオールドポンドストリートのブラシです。

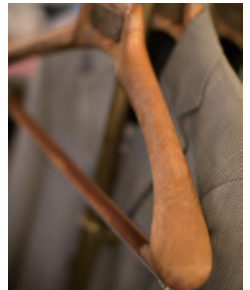


テイラーオブオールドポンドストリートのブラシ

② 肩に厚みのあるハンガーで保管する

当たり前のお話ではあるのですが、服は“着ている状態”を想定され作られています。しかし実際にはどうでしょうか？着ている時間よりもクローゼットに入っている時間の方が圧倒的に長く、衣替えをすると半年以上は着ることがありません。そこでこのクローゼットに入っている時間を出来るだけ“着ている状態に近づける”のが健康寿命を延ばすコツです。

そこで大切なのがハンガーです。肩に厚みのあるハンガーを使用することで、肩を入れている状態(着ている状態)に近づけることが出来るのです。色々なハンガーがありますがイルサルトのオススメは、ハンガーの名門マイネッティ社のこちらのテイラーハンガーです。就寝している時間が人生の中で3分の1だから良い寝具を選び快適な睡眠に投資する様に服が長持ちする様なハンガーに是非投資をしてください。



マイネッティ社のテイラーハンガー

③ すぐにクローゼットには入れず1日は陰干しする

暑い季節は特にですが、1日お召しになったスーツは汗を吸い湿気を帯びています。汗が完全に服から抜けるには約72時間掛かると言われています。湿気を帯びたスーツをすぐにクローゼットに入れるとその湿気や臭いが他のスーツに移ってしまいます。そこで1日お召しになったスーツはすぐにはクローゼットに入れず、一晩はクローゼットの外で陰干し(光の当たらない所にかけておく)する様にしてください。



◆ スーツのお手入れ方法

① パンツはボトムハンガーにベルトをつけたまま吊るしておく

ジャケットはパンツに比べるとシワになりにくいのですが、立ったり座ったり歩いたり様々な方向から力が加わりますので1日履いたパンツはシワだらけになっています。このシワをきちんと取っておかないと段々シワがとれにくいスーツになってしまいます。アイロンをかけたリズボンプレッサーを使ってシワを取る方法もあるのですが、イルサルトのオススメがこちらです。裾の部分からボトムハンガーにかけてベルトをつけたまま吊るしておく。たったこれだけなのですがベルトの重さで引っ張られ一晩でシワが綺麗に取れますのでカンタンで非常に効果的です！

